

アクティブ・オーナーシップ：2022

良い変化を生むためのグローバルなエンゲージメント

アクティブ・オーナーシップは、お客様のために持続可能な価値を創造しようとすることを意味します。リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント (LGIM) の年次報告書では、2022年にどのようにしてこれを達成したかを詳細に記しています。



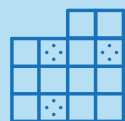
「昨年、メディアを賑わせた根本的な問題の多くは、責任投資をリードするLGIMの活動のまさに核心に触れるものでした。正しい解決策にたどり着くには、問題を理解するしかありません」

ミッシェル・スクリムジャー

リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント (LGIM) CEO

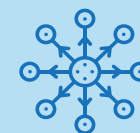


数字で見る2022年



£3,322億ポンド¹

責任投資戦略による運用資産



19

新たに提供を開始した責任投資戦略の数



171,000²

世界全体で議決権を行使した議案数



902

LGIMのインベストメント・スチュワードシップ・チームがエンゲージメントを実施した企業数

注：本文書は2022年におけるLGIMのスチュワードシップ活動について報告するものです。別段の記載のない限り、出典記載のない情報、データ、図表はすべて2022年12月31日時点のLGIM内部データを基にしています。

重要なリスク：投資の価値とそれから得られる収益は、保証されているものではなく、変動するおそれがあり、投資した元本を取り戻せない場合があります。

1. LGIM (2022年12月31日時点)。責任投資戦略の運用資産残高は、ファンドやお客様との投資運用契約口座のうち、ファンド文書またはお客様の投資運用契約に、ESG基準が意図的かつ積極的に表されているものの運用資産残高のみとなっています。
2. すべての運用資産を対象とします。



LGIMが目指すのは.....

.....投資対象である企業や資産、そして社会全体に前向きな変化をもたらすことです。

2022年、LGIMは以下の分野に重点的に取り組みました。

1. 政策提言と協力

- LGIMのグローバルな政策対話は、ESGの諸問題を改革するために政策的・構造的障壁を取り除くことで適切な規制の下地をつくるのがねらいです
- 2022年のLGIMの政策活動で特に重点を置いた領域は自然でした。具体的には農業、水、生物多様性、森林破壊がテーマになりました

2. 環境

- LGIMクライメート・インパクト・プレッジ（気候影響誓約）に基づき、LGIMの最低基準を満たしていないとして、反対票の行使の候補となった企業は約80社でした
- 2022年10月、クライメート・インパクト・プレッジ（気候影響誓約）を拡大し、対象企業は15セクターの約1,000社から、気候変動を大きく左右する20セクターの5,000社以上になりました
- 2022年9月、LGIMは、森林破壊に対する方針を発表し、エンゲージメント・キャンペーンを開始しました。その一環として、森林破壊に与える影響が大きいセクターの300社に対して、LGIMの期待水準とそれが達成されなかった場合の影響を書面で説明しました

3. ダイバーシティ

- 2022年次株主総会シーズンは、取締役会レベルの人種的ダイバーシティが欠けているという理由で特定の企業に反対票を投じた初めてのシーズンとなりました
- FTSE 100指数とS&P 500指数を構成する69社に対して、執行委員会の委員が男性のみであるという理由で反対票を投じました³
- 2022年、LGIMのダイバーシティ・エンゲージメントをブラジル、インド、中国、南アフリカに拡大しました

3. 2022年のLGIM内部議決権行使データ





4. 人と健康

- 薬剤耐性の問題に関して、対策を押し進めるための議決権の行使として、この問題に対する3つの株主提案に賛成票を投じました
- 2022年、2025年までに生活賃金⁴計画を開示するよう企業に最後通告を発しました
- 労働者の権利、不平等、差別など、社会と人に関連する問題に対して100票以上を投じました

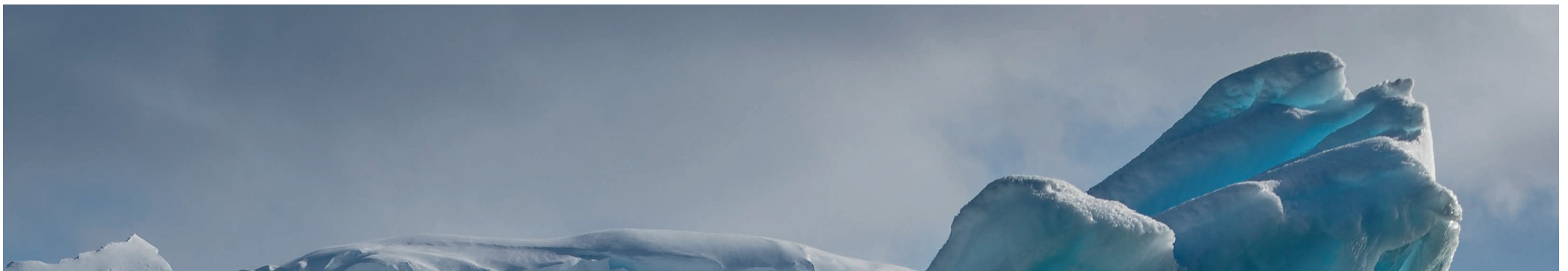
5. 投資家の権利

- 2022年、「1株1議決権」に対するLGIMのコミットメントを強めました
- 企業がESGに関連する数々の問題を管理するにはガバナンスの角度から見る必要があると理解し、ESGのテーマに総体的アプローチで取り組みました

6. 取締役の報酬

- LGIMは市場に対する期待を明確にし、透明性のある方針として越えてはならない一線（レッドライン）に照らして企業の報酬体系を検証します
- 2022年は高インフレ環境において、ステークホルダーの立場および従業員の公正な待遇を引き続き重視しました

4. 生活賃金とは、英国の基本的な生活費に基づく時間給。英国のリビング・ウェージ財団によって算出されているため、法的根拠はない。英国政府が法律で定めている最低賃金とは異なる。



インベストメント・スチュワードシップ・チームの2022年
エンゲージメント実績



1,224回
エンゲージメント
総数



361回

会議や電話



863回

書面による
エンゲージメント

最も頻繁に話し合われたテーマ

気候変動



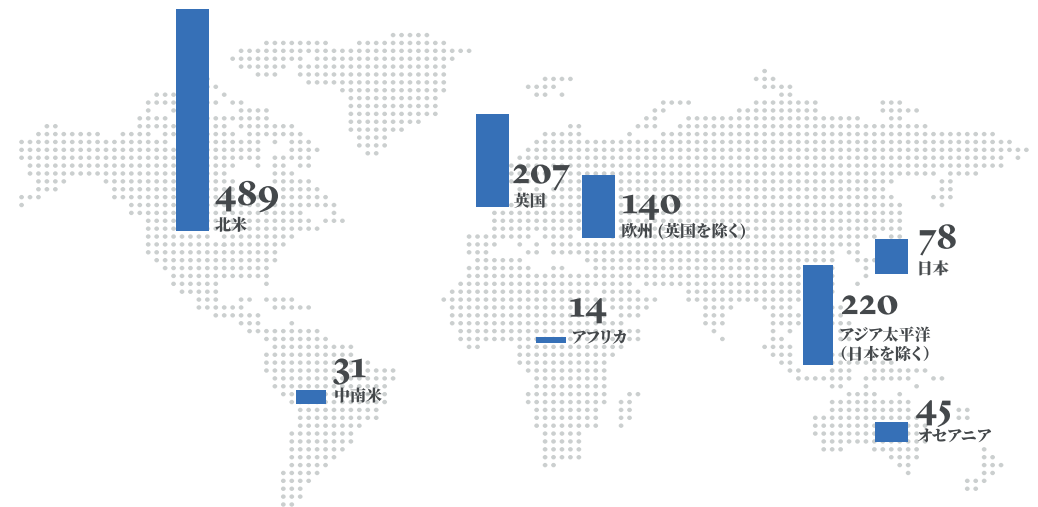


エンゲージメント総数の内訳

エンゲージメントのテーマ別内訳*



エンゲージメントの地域別内訳



エンゲージメントの上位5テーマ*



*注：一度のエンゲージメントにおいて複数のテーマを扱う場合があります

受賞歴

業界および同業他社からの支持

LGIMは常に業界をリードする結果を出すことを目指していますが、達成したことに安住しているわけではありません。外部の評価や監視は、気を引き締めて、たゆみなく改善を続けるモチベーションになっています。



2022年、LGIMは責任投資の取り組みが評価され、次の業界賞を受賞しました。

- City AM Awardsの「ESG」賞
- SRI Awardsの「ESGアイデンティティ」賞
- 『インベストメント・ウィーク』誌 Sustainable Investment Awardsの「最も革新的なサステナブルETFリリース」賞
- Irish Pensions Awardsの「ESG/SRIプロバイダー・オブ・ザ・イヤー」
- Mondo ETF Awardsの「アジア太平洋ベストESGエクイティETF」
- Risk.net主催 Risk Awardの「インベストメント・ハウス・オブ・ザ・イヤー」

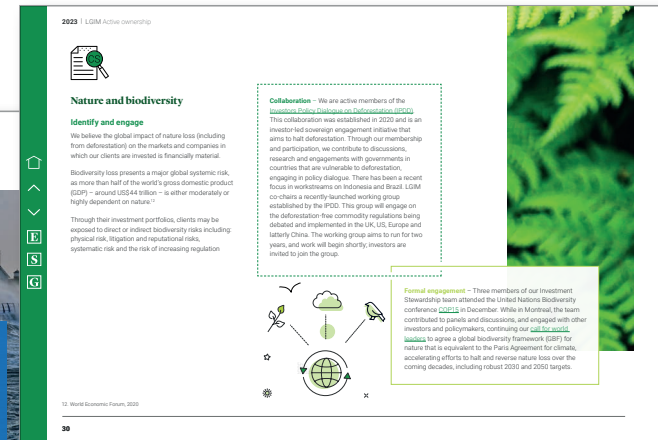
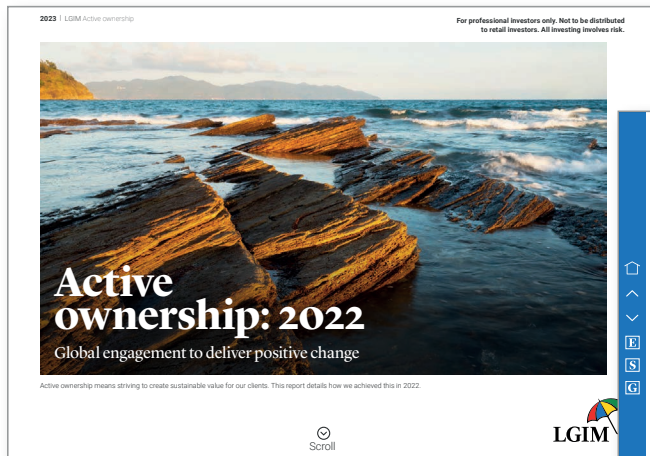


受賞は投資を推奨するものではありません。過去の実績は、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。投資の価値とそれから得られる収益は、保証されているものではなく、変動するおそれがあり、投資した元本を取り戻せない場合があります。

レポート全文

2022年のLGIMアクティブ・オーナーシップの詳細については、下記のウェブサイトより本レポートの全文をご覧ください。本文書で取り上げた事例以外にも、前向きな変化を推進するためのLGIMの取り組みを多数紹介しています。 www.lgim.com/activeowner

LGIMのインベストメント・スチュワードシップ・チームは、LGIMのブログやポッドキャスト・チャンネル「LGIM Talks」でも最新情報を定期的に発信しています。



お問い合わせ

LGIMについての詳細は、lgim.comをご覧ください。LGIMの営業担当者までご連絡ください。



重要なリスク

投資の価値とそれから得られる収益は、保証されているものではなく、変動するおそれがあり、投資した元本を取り戻せない場合があります。過去の実績は、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。特定の証券についての言及は、わかりやすくご説明することのみを目的としています。これらは、過去の事象に基づくものであり、その証券がLGIMのポートフォリオに現在保有されていることも今後保有されることも意味するものではありません。これらの情報は証券の売買を推奨するものではありません。仮定、見解、予想は、わかりやすくご説明することのみを目的として掲載するものです。予測が現実になることを保証するものではありません。

免責事項および重要な法律上の注意事項

LGIMの議決権行使に関するデータソースは、すべてLGIM内部データです。ご要望により詳細情報をご提供いたします。

本文書は投資を勧誘するものでも、マーケティング・コミュニケーションでもありません。本文書は、リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント・リミテッドおよびそのグループ会社（「リーガル・アンド・ジェネラル」「LGIM」「当社」）が当社の知的財産を象徴するトレード・リーダーシップとして作成したものです。本文書に掲載されている情報（「掲載情報」）には、ガバナンスに関する重要事項についてのリーガル・アンド・ジェネラルの考え方が含まれ、それが上場企業に対して、また広く株式発行体に対して影響を及ぼす可能性があります。本文書をできる限り多くの国や地域において配布できるようにするため、掲載情報については、LGIMグループ傘下の関係会社が提供する商品やサービスについての説明を意図的に控えています。

いかなる者も、掲載情報について、あるいは本文書に関連して提供された書面または口頭による情報について、その正確性や完全性に関してリーガル・アンド・ジェネラルに対し訴訟を起こす権利を持ちません。本文書およびリーガル・アンド・ジェネラルが提供するその他のいかなる文書や発表資料のいかなる部分も、英国の1995年年金法（改正）の解釈上の「適切な助言」とはみなされません。

制限事項：

リーガル・アンド・ジェネラルとの書面による別途の合意がない限り、本文書の掲載情報は、(a) 情報提供のみを目的としており、それに基づきいかなる行為の勧誘も行うものではなく、(b) 証券の売買や、特定の投資戦略の実行を提案するものでもなく、(c) 投資、法律、規制、税金に関する助言でもありません。法律により許される限りにおいて、制定法や判例法によって示唆される掲載情報に関連するすべての表示、保証、条件、約束その他のあらゆる合意については、免責とします。掲載情報の質、適切性、正確性、完全性に関する表示などが対象となります（これに限定するものではありません）。

掲載情報は「現状有姿の状態」で提供するものです。リーガル・アンド・ジェネラルは、法律により許される限りにおいて、お客様または掲載情報を受領したその他の者が掲載情報を利用もしくはこれに依拠したことに起因する、またはそれに関連して生じる、いかなる損失、損害、費用/コストについても、一切責任を負いません。リーガル・アンド・ジェネラルは、損害の原因や責任の根拠にかかわらず、契約責任であれ不法行為責任であれ（過失を含む）、その他いかなる場合であれ、リーガル・アンド・ジェネラルがそうした損害の可能性について通知されていた場合であっても、間接損害、特別損害、派生的損害について一切責任を負いません。

第三者に関するデータ：

本文書においては、第三者の情報やデータ（「第三者データ」）が掲載されていますが、リーガル・アンド・ジェネラルは、これらの第三者データの正確性、完全性、信頼性について保証することはできません。また、これらについていかなる責任も負うものではありません。

公表、修正、更新：

リーガル・アンド・ジェネラルは、本文書がお客様の手元に届いた後に、掲載情報を更新・修正する義務も、掲載情報の誤記を訂正する義務も負いません。リーガル・アンド・ジェネラルは、本文書および掲載情報をいつでも通知なく更新する権利を有します。本文書の掲載情報は、本文書の作成または公表時において正しいものと考えますが、本文書の公表後に入手可能になりうる情報に照らして完全性および正確性を保証するものではありません。本文書の作成または公表後に、関連性の高い出来事や事実、状況が生じた場合、それが掲載情報に反映されていない可能性があります。

© 2023 リーガル・アンド・ジェネラル・インベストメント・マネジメント・リミテッド。英国金融行為規制機構（FCA）の認可と規制を受けています（No. 119272）。イングランドとウェールズにて登記（No. 02091894）。登録所在地：One Coleman Street, London, EC2R 5AA. D005411_JP.

